

同窓会新報

題字・上野慧賢先生

所谷丁学校
東京用駒澤同窓会
TEL (700)6131(代)

駒大高同窓会

三十周年を迎えて



会長 秋山 彰三



三十周年を祝して

名譽会長 河野 良機

光陰矢の如し

顧問 飯島 秀峰



駒澤大学高等学校同窓会は本年をもって三十周年を迎えた。三十一年という年月は戦後の日本学校の復興の歩みと期を同じくするもので、現在の日本の繁栄を三十年前には想像することができなかつたと同様に、今日の駒澤大学高等卒業した昭和二十六年当時では考えられないものである。

先日の新聞紙上に駒澤大学の先生が、教育とは「解放と束縛」という矛盾するものを同時に果たすものでなければならぬと云われ、「把住放行」(はじゅうほうぎょう)とらえどめ、ほ

うりだすこと」の修行について書かれていたのを拝見し、私は感銘をうけた。創設当時の駒高に在学した私達は「放行」のみであり、先生方に非常な迷惑をかけたことと反省するのであるが、この放行のみであり、先生方に非常な迷惑を誤ることなく卒業することができ、その後の人生においても、善き成果を挙げることができた。私は、駒高同窓会三十周年を迎えるに当たり、あらためて今日の駒高の基礎を作られたこれらの諸先生方に感謝の意を表す。私は、駒高同窓会三十周年を迎えるに当たり、あらためて今日の駒高の基礎を作られたこれらの諸先生方に感謝の意を表す。

（弁護士）

同窓会の皆様には日頃から母校のために何かとご高配を頂き、ありがとうございます。お今後共に休心下さい。なお今後共に層のご支援ご協力をお願ひ申し上げます。

おかげさまで本校も着実に発展につありますのでご休心下さい。なお今後共に層のご支援ご協力をお願ひ申し上げます。

小生はその予科の終了生でありますので、あながち無関係ではなくむしろ深い因縁があるようになります。

（学監）

申すまでもなく本校の前身は旧制の大学予科でありその予科が終戦後の学制改革によって廃止となり、そ

れによって本校の前身为て飯島秀峰先生が、学監として就任された。上野元先生は御病気のため

事務長の職を辞し、教育活動に専念されることになつた。昭和五十四年九月一日付で飯島秀峰先生が、学監として就任された。上野元先生は御病気のため

は現在病院を退院され、自宅で静養中である。また白浜正幸先生は御病気のため

上野・河野両先生に名譽会長・飯島先生に顧問をお願いすることとなつた。

十一月十六日(日) 午後一時より

母校講堂(新玉川線用賀・桜新町駅下車) 式典後懇親会

三十周年記念式典

上野慧賢先生

名譽校長となる

上野慧賢先生

十一年度の成績

上野慧賢先生

三十周年記念式典

岩岸
就任者
飯島
秀峰
(学
語)

特別会員の移動

深沢
武笠
昌憲
(国
語)

武笠
吉岡信一郎
大輝
(英
語)

佐藤
佐藤
相沢
武田
英徳
(英
語)

金子
相澤
清水
太田
渡部
正彦
政文
(英
語)

武田
昌憲
大輝
(英
語)

就任者
(五十五年度)

1. 収入の部		予 算	決 算
前 年 度 繰 越 金	3,002,721	3,002,721	
終身会費(5000×人數)	2,430,000(486名)	2,425,000(485名)	
利 息		35,655	
計	5,432,721	5,463,376	

2. 支出の部		予 算	決 算
事 通 会 慶	費 信 議 冊	200,000	656,110
同 慶	費 信 議 冊	50,000	361,950
新 報 発 行	費 信 議 冊	300,000	263,372
助 成 費	費 信 議 冊	200,000	178,000
三十周年記念事業準備費	費 信 議 冊	700,000	0
三十周年記念事業基金	費 信 議 冊	200,000	105,000
予 備 費	費 信 議 冊	700,000	558,000
	三十周年記念事業準備費	100,000	16,200
	三十周年記念事業基金	1,000,000	1,000,000
	予 備 費	500,000	0
小 計		3,950,000	3,138,632
預 金		1,482,721	2,324,744
総 計		5,432,721	5,463,376

上記の通り、関係書類監査の結果、妥当且適正であることを証明いたします。

昭和55年4月19日

原 正雄 (印)
橋本 信義 (印)

1. 収入の部		<昭和55年度> 予算	
前 年 度 繰 越 金	2,324,744		
終身会費(5000×人數)	2,385,000		
計	4,709,744		

2. 支出の部		予 算 額
事 通 会 慶	費 信 議 冊	500,000
同 慶	費 信 議 冊	50,000
新 報 発 行	費 信 議 冊	400,000
助 成 費	費 信 議 冊	200,000
三十周年記念事業費	費 信 議 冊	700,000
三十周年記念事業費	費 信 議 冊	200,000
予 備 費	費 信 議 冊	1,600,000
	予 備 費	500,000
小 計		4,650,000
預 金		59,744
総 計		4,709,744

3. その他	
三十周年記念事業費	定期預金
	普通預金
	計

四月二十一日(月)六時
十五分より、役員総会を催す。田上太秀副会長・河野良機名誉会長の挨拶の後、議事に入る。

五十四年度決算案を審議された。(別表を参照)事務費用は予算額を超えたが

良機名誉会長の挨拶の後、議事に入る。

五十四年度決算案を審議された。(別表を参照)事務費用は予算額を超えたが

名簿発行の準備進む

久しく名簿を発行していなかったが、三十周年記念事業として、本年十一月発行の予定で、現在準備を進めている。その経過報告をし、会員各位の協力をさし懇願する。

五十年に名簿カードを作成し、各クラス会出席者の名簿リスト等を参考にし、住所を、遂に確認し改正した。また新報等を郵送された分については、住所欄を抹消した。昨年十二月よ

り、諸証明書発行控等で、住所の確認をした。先生、役員、幹事各位に住所等の調査を依頼し、三月上旬に終了。その後各会員(約八〇〇名)に往復ハガキで現況を調査し、それを基に住所等の確認をした。しかし、返信が14位しか出されなかつた。現在手もとに返信用ハガキのある人は至急返送して欲しい。カードより印刷原稿を作成し、五月六日に、印刷所に原稿を渡す。原稿作成中に、あまり

に多くの会員が住所不明であることに気づき、驚愕し、新報を通じて、各会員に情報の提供を依頼することにした。七月下旬に初稿が提出する予定であるが、その校正が終了する八月まで、住所不明者の追跡調査を継続する予定である。

東白桜加落井石一期 新山早期 渡吉山鳩野永中高高鈴神小木管河上井期
郷髪井納合上田 藤崎川 辺村口貝沢井川橋梨木保杉村野島野上
昭雄栄正安幸恭 月正雅 泰鍾和泰孝英三忠康正淨定寿広八
八郎一一庫夫安二 明憲昭 三玄男男佳夫郎夫男則修郎夫夫幸男郎

築浜高金久国木内石安期 宮松福林一期 矢武永船深萩谷谷杉川金期 宮中
瀬野木野枝村山部藤 下島井 崎藤瀬木田野村口田名子 内野
靖鎮久寿隆富士 武顕晶一 祐知晴博英幸喜孝直達弘
穀守夫淳実嗣治男尚郎 文光章生 久浩賢男司明一武郎脩彦 雄明

松前藤藤藤津杉清佐齊今加小遠相期 八芳山原野永中辻住鈴嶋小大浅期
沢川村田瀬田田水内藤野賀野藤沢 沢本野原田熊 井木貫林橋野
将博幸哲安永正靖直芳義宜良 正三雅健通修義大光政綾
夫貞男徹朗男紀一博明道信栄元志 明郎仁徹治泰平央木夫中明二

石池吉高和若吉前佩根成永武滝高志白小熊岸河金岡大江伊期 竹吉
井山組田木田山岡田川岸瀬瀬 口橋村井林谷 村子田野原藤 内田
敏政州紀正紘義嘉昌輝庄正辰紘菊勝守悠博隆 彪
浩雄昭満弘男修総務和進平司哲雄一照彦全男己男彬二文太 衛清

高染鈴清沢小黒岸鎌女尾内確伊期十吉本松平土西中中倉久木橋加片内市新阿青期B
田谷木水田泉柳本田井崎山井藤組川郷野山方野村村島本田村田藤井海川井部山組
征幾隆幸武勝勝博千康龍 敏晃貴富紀信利修明正勝春克恒有
四郎男実司雄美已久孝秋夫勇一寿 行昇幸晟男昭義之朗三光雄忠夫尚夫行夫勲一

市伊安吉山山矢村星福浜野中塚玉高関菅清佐木嘉総岡荒雨赤期A
川熊島田本崎内木野家田沢村本川子口原水竹村茂谷村木宮尾B組
和修靖忠博英正幹明郁耕秀勝基勝照享通真瑞弘明能邦繁暢
右二夫治一機悟弘夫夫二直昭彦基征一敏盛生樹宏男光雄夫彦

山樋日長橋根榎中塚塚佐小川川上小池十二期A
崎口色川本来島村本木林口崎地沢島奉頴邦清慶義喜常由義英定雅希信良和正晴耕允昭
国征英一正旗孝皓慶靖昭文靖洋介夫治隆郎晴治美彦紀雄見次昭征義昭行光一宏雄清
男二雄実生勝夫毅夫巳悟勲浩夫生男雄

鈴杉佐佐小金加大一期和渡若山村水松松別肥中徳滝鈴佐佐小木北川大大遠石青期C
木原藤林牧藤矢柳組田辺松森尾野永沢所塚野植沢木藤木林村川畑竹垣藤橋木C組
昌祥裕健良敏欽亮博英真崇好映忠三龍忠正峯英信英登昭健智秀英俊拓治
明介一治佳文晃也介夫昭人司昭正善樹海雄春雄昭機博雄一二一人雄郎次郎達

山村松福平原西中永都玉多高信酒小京遠江栗赤十三期A
田上本井田河村井筑井田橋井池谷藤平井岩A組宣和征貞俊淳重定松弘誠健善敏召繁克達秀
和源直征勇定昌文晴美克忠耕和信博邦靖賢貴弘雄明三明亮司幸夫次昭康一夫登久功勝郎雄慧昭
正猛郎紀史夫之夫雄嗣已義郎臣行之夫夫一治

内井安望平林津谷田小熊小江伊阿十三期D
田川崎川月下田口中暮木川沢藤部D組吉安森松前藤能西中田田鈴白沢郷近久国菊鹿大大内
雅義信明喬国直福泰祐新昌典昭鉄孝高伯和勝二猛一昭明篤重和絃修
生彦一美芳男剛功行幸之保之平榮之潔美爾夫一勇志雄夫義郎雄夫雄勉道司隆洋清一明二

内杉新島小木金加小大蛇印石阿十五期A
木山藤田杉村子藤沢内津谷田井部D組増鈴今渡横山松福繩照重小加大小池鮎十四期D
康秀幸時辰弘正雅憲公敏民善裕治敏未洋克良紀肇義公久重正公勝秀博孝昌節正
博田治男雄明司男清史治平通夫勝之身孝男征次憲昭史治吉夫暉宏衛昭浩臣利正峰之泰靖昇宏男彦

川大大岩岩今今猪荒阿浅十五期D
西島熊下熊村井原井部野平紀啓洋伊良隆隆和康健二秀隆平康順昭正健好正邦健國泰進輝
一男治亮三夫平之男光弘博二郎和清生郎夫一平樹次裕信洋一俊明俊一矢求

早羽橋土土関鈴篠佐大大胡石十五期F
川塙本居谷木原藤野石橋貞敏利貴元信允淳輝真夫作一郎光治郎一二雄実清功允彦治郎樹俊美孝夫春洋剛

松松平張林馬永長豊田田高高杉楠木吉小大稻本井原替場野沢田中中橋島本村瀬子沢西葉光將清弘正良正信和良勝登教克安樹隆行治和彪光雄実雄篤行良雄宣美勝男夫和爾
十一期A組吉横山山門森水松松永高田山本崎沢山谷本江井橋善和昭一義雅多郎修男男夫克俊彦夫滿
十一期B組馬谷瀬鈴菅近郷金葛尾小大太伊場川木谷藤子西辻川塚田東新一榮幸宗成治陽信正真加忠昭一男男二孝行雄右豊二利喜
十一期C組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期D組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期E組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期F組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期G組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期H組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期I組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期J組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期K組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期L組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期M組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期N組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期O組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期P組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期Q組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期R組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期S組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期T組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期U組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期V組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期W組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期X組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期Y組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正
十一期Z組横山村丸前林能永高閑清鈴杉下近栗川上渡横場本田山川島島野口光木原田藤原島条健忠晶保義準通友尚昭道正糺正清正

役員総会開催

特別会員の移動

(五十四年度) 就任者
岩岸 飯島 秀峰 (学監)
武田 深沢 武笠 昌憲 大輝 (国語)
武笠 吉岡信一郎 佐藤 佐藤 相沢 武田 大輝 (英語)
(保・体) (英・仏・公・教) (英・仏・公・教) (英・仏・公・教)

(五十五年度) 就任者
金子 清水 一彦 渡部 正彦 (英語)
相澤 政文 (英語)

〈昭和54年度〉		
1. 収入の部	予 算	決 算
前 年 度 繰 越 金	3,002,721	3,002,721
終身会費(5000×人数)	2,430,000(486名)	2,425,000(485名)
利 息	35,655	
計	5,432,721	5,463,376

2. 支出の部		
	予 算	決 算
事 通 会 慶 窓 新 ク ラ ス 三十周年記念事業準備費	200,000	656,110
会 議 弔 報 行 助 成 費	50,000	361,950
窓 新 ク ラ ス 三十周年記念事業準備費	300,000	263,372
行 成 費	200,000	178,000
助 成 費	700,000	0
成 費	200,000	105,000
助 成 費	700,000	558,000
三十周年記念事業準備費	100,000	16,200
三十周年記念事業基金	1,000,000	1,000,000
予 備 費	500,000	0
小 計	3,950,000	3,138,632
預 金	1,482,721	2,324,744
総 計	5,432,721	5,463,376

上記の通り、関係書類監査の結果、妥当且適正であることを証明いたします。

昭和55年4月19日

原 正雄 ㊞
橋本 信義 ㊞

〈昭和55年度〉予算		
1. 収入の部		
前 年 度 繰 越 金	2,324,744	
終身会費(5000×477)		2,385,000
計	4,709,744	

2. 支出の部		
	予 算	額
事 通 会 慶 窓 新 ク ラ ス 三十周年記念事業計画及び	500,000	
会 議 弔 報 行 助 成 費	50,000	
同 窓 新 ク ラ ス 三十周年記念事業費	400,000	
事 通 会 慶 窓 新 ク ラ ス 三十周年記念事業費	200,000	
同 窓 新 ク ラ ス 三十周年記念事業費	700,000	
事 通 会 慶 窓 新 ク ラ ス 三十周年記念事業費	200,000	
事 通 会 慶 窓 新 ク ラ ス 三十周年記念事業費	500,000	
事 通 会 慶 窓 新 ク ラ ス 三十周年記念事業費	1,600,000	
事 通 会 慶 窓 新 ク ラ ス 三十周年記念事業費	500,000	
小 計	4,650,000	
預 金	59,744	
総 計	4,709,744	

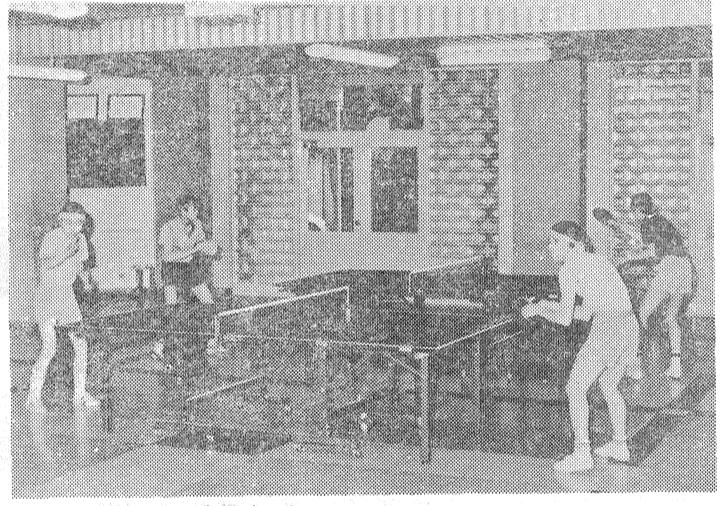
3. その他

三十周年記念事業費	定期預金	普通預金	計
1,000,000	1,000,000	2,000,000	

に活動を行なう。名簿は同窓生に実費で頒布の予定(予価三千円)。社会情勢等の影響で印刷費等が、高騰しているため、名簿に載せる広告を会員各位に依頼し、その費用の一部とした。広告掲載希望者は事務局まで連絡して欲しい。

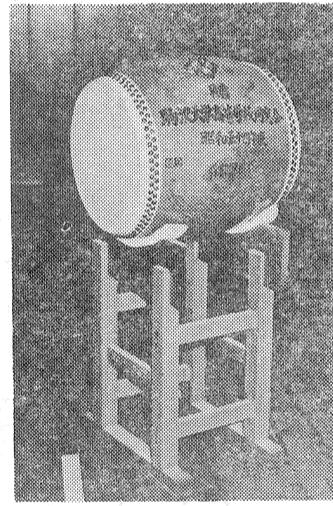
記念式典は十一月十六日午後一時より、母校講堂で

行なう。式典後、懇親会を行なう。式典の日時について様々な意見があつたが、右記通り決定した。名簿及び新報発行準備の経過報告があり、原案通り決定。



寄贈された卓球台と太鼓

会員の近況報告



浜田好晃 (八期)

十二年ようやく一人前の扱いを受けるようになりました。家庭では、二男一女の子供達が、毎日おやじの帰りを待っています。来年は長男が高校入学、我が母校に入学させたいと考えています。

現在、自店の他母と四店経営。美容指導師として出張。

現在、同窓会の母の後をつぎ、美容界へ入ります。美容雑誌及び各地への美容指導師として出張。

森本勝 (四期)

現在の仕事に入つて、二年ぶりに実業部を五年かかつて卒業しました。

福島吉功 (二十期)

駒沢大学経営学部卒業後、母の後をつぎ、美容界へ入ります。美容指導師として出張。

川野潤 (二期)

ローバル焼「大閑」を経営。やる気のある人、若い力を求む。

山根真一 (二三期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

清水修二 (二期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

森本勝 (四期)

現在の仕事に入つて、二年ぶりに実業部を五年かかつて卒業しました。

福島吉功 (二十期)

駒沢大学経営学部卒業後、母の後をつぎ、美容界へ入ります。美容指導師として出張。

川野潤 (二期)

ローバル焼「大閑」を経営。やる気のある人、若い力を求む。

山根真一 (二三期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

清水修二 (二期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

森本勝 (四期)

現在の仕事に入つて、二年ぶりに実業部を五年かかつて卒業しました。

福島吉功 (二十期)

駒沢大学経営学部卒業後、母の後をつぎ、美容界へ入ります。美容指導師として出張。

川野潤 (二期)

ローバル焼「大閑」を経営。やる気のある人、若い力を求む。

山根真一 (二三期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

清水修二 (二期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

森本勝 (四期)

現在の仕事に入つて、二年ぶりに実業部を五年かかつて卒業しました。

福島吉功 (二十期)

駒沢大学経営学部卒業後、母の後をつぎ、美容界へ入ります。美容指導師として出張。

川野潤 (二期)

ローバル焼「大閑」を経営。やる気のある人、若い力を求む。

山根真一 (二三期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

清水修二 (二期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

森本勝 (四期)

現在の仕事に入つて、二年ぶりに実業部を五年かかつて卒業しました。

福島吉功 (二十期)

駒沢大学経営学部卒業後、母の後をつぎ、美容界へ入ります。美容指導師として出張。

川野潤 (二期)

ローバル焼「大閑」を経営。やる気のある人、若い力を求む。

山根真一 (二三期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

清水修二 (二期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

森本勝 (四期)

現在の仕事に入つて、二年ぶりに実業部を五年かかつて卒業しました。

福島吉功 (二十期)

駒沢大学経営学部卒業後、母の後をつぎ、美容界へ入ります。美容指導師として出張。

川野潤 (二期)

ローバル焼「大閑」を経営。やる気のある人、若い力を求む。

山根真一 (二三期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

清水修二 (二期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

森本勝 (四期)

現在の仕事に入つて、二年ぶりに実業部を五年かかつて卒業しました。

福島吉功 (二十期)

駒沢大学経営学部卒業後、母の後をつぎ、美容界へ入ります。美容指導師として出張。

川野潤 (二期)

ローバル焼「大閑」を経営。やる気のある人、若い力を求む。

山根真一 (二三期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

清水修二 (二期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

森本勝 (四期)

現在の仕事に入つて、二年ぶりに実業部を五年かかつて卒業しました。

福島吉功 (二十期)

駒沢大学経営学部卒業後、母の後をつぎ、美容界へ入ります。美容指導師として出張。

川野潤 (二期)

ローバル焼「大閑」を経営。やる気のある人、若い力を求む。

山根真一 (二三期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

清水修二 (二期)

社会人としても、責任を自覚し始めた今日このごろです。社会人三年生。

森本勝 (四期)

細早中滝高佐桜小大伊 川川島島橋木井松熊藤 敏淳憲重宣英啓光竜利 陸一治留彦人介弘彦行	十五期 田村本口藤井橋下野田藤林沢 富郁則和清治常二義嘉 元明 尚重 宏敦夫弘彦夫美元夫郎雄宏進良三豊男剛和	十五期 山森橋橋内富高瀬椎城齊近小金奥岩伊石石 岡野城本村藤中島代益巻山島村口村淵田部 安幸一明洋 隆新 正正 博克修 清弘雄志光三篤夫平隆美幸満修美宣身洋康	十五期 村武本橋中内田田貞坂小小木上柏岩池阿 辺野本瀬田芦 渡吉山山持水 保一輝久勝 隆雄宏彦雄彦	
崎十六期玉組 田井部立G組 孝榮喜三 雄幸一敬	十六期 米山森芝松藤林中閑鈴陣島志佐川加奥奥小植池秋 田浦川木井田田村木木木内崎賀藤合藤田形松野元 雅英君一 康広彰浩基 詳文明忠学 茂良元秀隆 英明男之微博司男詞公修恭治彦之雄寿男介信樹治実	十六期 渡村丸松福名中閑鈴齊小小柏遠青 部上山下田達村 木藤林泉谷藤木 邦喜昌 光 博雄敏英國和榮 宏 興明輝薰雄要義司郎彦雄義一滿年	十六期 三藤人多田篠高加井伊石荒 田本見田口原良藤上藤塚田 敦利敏健盛佳義真義耕 浩士保三信二久三昭郎一作 茂	
飯新阿足 田井部立G組 孝榮喜三 雄幸一敬	十六期 若李吉吉萩苦田鉢佐酒小小加加宇上石飯 尾載田田原地中木木井山林藤藤都賀井田 榮光新又達章幸俊 象祥守成 清明 一癡寛一二生介郎之及三悟司行和暉治吉	十六期 横御松牧原徳淹高柴佐佐佐鑄大石井生 田友井野島田沢橋田野内藤木桑井汲島 利久義公洋 俊 正 健正敏茂正堅 則正幸郎次博勝彰晴賢市宏正吉弘二豊	十六期 吉安丸松福比浜畑田芹閑島寺佐齊 野田山浦島間田 中野原田境藤藤 哲良信治 幸聰信憲俊 信純一 節彦一夫夫敏男郎久三昭茂吾次史	
北大上岩石阿浅 沢山田谷田部川 徹文微壽謙政 隆夫明郎男一司	十六期 米矢森塚星藤林中中戸提玉田竹閑菅柴柴小桑栗久菊神葛白伊相 川口田越野木 野川塚 村中内口原原原林原山保地崎西井藤沢 進晴峰利堅良 正 義晴 勝菊雅昌一憲英 洋省重 一彦行郎司信勤志博直明雄浩己夫光夫男和夫茂久保美覚二昭利	十六期 羅吉村丸松松細保藤西鶴田武高善志宋佐坂伊 川松岡本尾川坂森村丸中内橋波村戸藤根森 昭英直雄裕泰竜幸 伸信国 芳眺俊賢一永 明二秀郎一英夫利勝均洋夫明弘夫郎一司夫健		
羽永徳鈴鈴斎片岡大植飯 太井田木木木藤藤岡田井田島 国茂二正昌房 吉一榮哲政邦 臣一郎之丈義啓治敬郎雄博治	十六期 山森松松松本平西中鶴田武武関沢佐小久尾小岡内 崎川山広尾井間井田川田崎井井口 川田田閑倉 田 正晴立弘芳賢恒貴延定浩憲 幹修誠 良広和 男博夫夫明兼一治志利行成司清夫平一真男一夫進猛	十六期 和吉矢室宮舟藤沼新鍋中富綱高高闊白白小 田村部岡崎田井 村田地永島谷野野子岩林 信康信芳尊 邦弘寿良昌 睦信安吉和和 行宏雄明司正誠久仁章樹敏弘彦好永夫博之		
新十六期井N組 一 雄	十六期 可島吉吉横山松前本橋西二富武斎小栗川亀金小岡大井伊伊飯浅 部原野岡倉田戸川庄本沢戸井井藤舟原合井山原田沢上藤野塚野 保利雅弘輝 幸保啓真耕喜道勝一 保隆英 忠淳英宏良幸 正義次一和義裕夫男一博一雄治雄夫功史之明純博一治明男男敏	十六期 山藤樋中中富角土田高小木荻岡庵今犬石有雨阿 田野口山山田田屋辺橋松村野部原井塚崎賀宮部 政昌敏 幸裕富 正淳祐正光雄高吉千芳勝 男良博明巧男二郎靜剛治一男男二明彦明治彦	十六期 渡茂林原 辺木 啓耿茂孝 三次人雄	
佐相勝河岡大磯家 藤良谷西村口部田 康敏守文保守仁俊 夫夫良雄正信志一	十七期 渡長永外照纈染小加小岡太岩石 辺川富所井纈谷柳藤瀬庭田崎井 正和 正憲晴清光敏正邦昭正 三行隆進雄宏男一男夫吉夫司美	十七期 橋原高高鈴柴境小川大遠岩磯石 本沢橋橋木山野野添野藤崎貝塚 信慎憲 富洋健俊義 洋広 一進吾治治啓夫治二治光誠正策	十七期 渡和渡中月塚高末白蔡後小喜大打植稻市 辺田辺田村田野柄石 藤島村橋越木村川 章雅一弘金和智 健 正正二忠孝 嘉 司晃夫明藏久一完一康徹兆章郎司夫朗男	
小小鎌大大井市飯 柳林田山沢上瀬島 和松慎良昭 光 家男司一治進寛夫	十七期 横森三道広塚田高鈴新斎近小栗木川加大江浮池有 山 井端瀬田中橋木谷藤林原村田藤楓垣原島田馬 誠俊光 健良一誠久要敏 二孝啓喜 義敏勝広 治雄行博藏一行一男一雄茂和誠郎吉志一進夫雄則郎	十七期 柳遊村前平長橘鈴菅西木井 葉津山川間島 木野条下上D組 健敏英邦直 純育新幸	十七期 山矢村森福深浜永鈴杉河 本島松 島沢田野木野村 政文 秀伸雅榮雅博 実純光雄景一一三一人已	
宮平中高鈴白塩沢阪川兼大有 寺野川橋木井谷地口村吉西馬 昭泰邦 良信直貴 正雄幸雄建享章昭均二樹志勇	十七期 片山宮宮見福平野中中田竹高下小小河小小加岡岡大大大石 山村本沢田田沢野黒中内橋鳥針林野泉池藤本田山谷野川 充和 孝秀 定和 三公珠三俊恒賢正孝博 直初博英 孝生博一敏茂正志光豊天昭郎郎美一博明啓悟茂行男司一	十七期 渡藤平日原羽西西中中高蘭鈴杉佐小候菅粕岡岡大内青 辺原本戸埜原野込津部木木山藤林 野谷野田保倉山 善光哲俊 静謙雅 芳直敏健 邦 景宗正 文正正千 樹夫郎治章夫二晴誠博男紀裕司守喜清華一光守男美彦丸 行博	十七期 山山山松松平野中中千高高闊鈴佐 本田内田浦井呂野根葉橋田口木木藤 敬利光英民利件雄五正正建住 輝信 三雄雄生明一二郎範人司秀徹昭一	
後黒樺小大榎今飯安青 藤川沢切貫本川塚藤柳 建正福昭 正日義文 二芳茂喜博修義夫雄明 寿行二雄樹文夫美貴郎勉康行久勇夫允	十七期 渡主山諸森宮藤野高河鹿加落小石石伊 辺藤根泉 地田口辻合野藤合沢毛川藤 高啓保厚秀由澄博 輝 晴博由 哲隆 善光哲俊 静謙雅 芳直敏健 邦 景宗正 文正正千 樹夫郎治章夫二晴誠博男紀裕司守喜清華一光守男美彦丸 行博	十七期 渡藤平日原羽西西中中高蘭鈴杉佐小候菅粕岡岡大内青 辺原本戸埜原野込津部木木山藤林 野谷野田保倉山 善光哲俊 静謙雅 芳直敏健 邦 景宗正 文正正千 樹夫郎治章夫二晴誠博男紀裕司守喜清華一光守男美彦丸 行博	十七期 吉村 川上 治雅	
高乙今 瀬川井D組 順徳 三章雄	十八期 谷永木河金大岩石飯粟浅 川見村野子沢城黒田野見 正直誠三博隆岩裕 光 孝樹樹二郎史之夫美誠広 治恵俊寧充秀良富 公雄明一孝己紀三雄久	十八期 谷光前深原萩中中竹高清小神金海 山吉田沢田原村野石柳水杉田子沢 清隆 一 一 直正富有幸 源寿 正憲孝伸信純秋 雅邦則佳順博和秀 貴一賢 夫雄章郎二史生夫操志成一格	十八期 宮水平波武高下重佐川鎌加加大市 田野井腰沢橋山田藤島倉藤坪A組 廣正和 保清武健 茂勝敏 洋 夫誠充生莊功夫正夫治修吉已幸 一市雄男篤身一等稔一	十八期 市武清篠久保 川井水瀬田橋 福照哲研 太郎吉治裕一 一生
鈴沢古磯青 木田村部柳 与志 勇徹則俊博	十八期 吉牧中清篠佐北太内伊市 田瀬村水原藤村田村藤川 道明重 友信勇和晴順 夫明夫寛博康一郎之道一	十八期 渡村原花萩西柴佐国日金 辺山城原田田藤分部井H組 源寿 正憲孝伸信純秋 一夫拓晃明司一一男夫雄	十八期 本橋中直高杉佐木荻岩 巢本野江橋山藤村原崎 英建幸哲 修和 謙裕一久康 一市雄男篤身一等稔一	十八期 吉西田高後飯 川本口林藤田 島中戸E組 三竹宍 山安簾仁 本本口科 陽義 成秀勝博
並高 木橋 治恵 公雄	十九期 山吉村八田高佐坂倉楠大市安 中田山崎本橋藤井橋島島村藤 雅邦則佳順博和秀 貴一賢 夫雄章郎二史生夫操志成一格	十九期 渡半松円鈴白篠小串龜 辺田茂谷木石田室田井 三孝干幸達昭日洋俊 男三明夫夫光夫一隆明	十九期 智坂持松加高小 野井田本藤橋林 重博輝 保 雄徹実史博保明 則涉 勉博次一広益樹郎	十九期 渡蓬三松細羽長田 辺田浦本川入川 泰正文大耕啓直 四純